

## 平成 28 年度いわき市総合防災訓練アンケート結果

本アンケートはいわき市総合防災訓練において、訓練に参加された市民を対象に、市民の防災意識や、今回の訓練で出た課題の把握を行い、今後の本市における防災への取り組みに役立てるために実施した。

### 1 いわき市総合防災訓練の概要

- (1) 開催日時 平成 28 年 11 月 5 日（土曜日）※遠野地区は 10 月 29 日（土曜日）  
午前 8 時 30 分～正午まで  
※四倉・川前地区は、10 月 29 日（土）原子力防災実動訓練を実施
- (2) 主 催 いわき市
- (3) 会 場 市内 11 地区
- (4) 参 加 者 地域防災の中心的役割を担う自主防災組織や消防団、防災関係機関、  
そのほか地域防災に関心がある方
- (5) テ ー マ 「自主防災組織を中心とした住民主導による地域防災力の強化」

### 2 訓練参加人数

11 地区において、自主防災組織や民生児童委員等を中心に訓練参加者及び訓練従事者の合計 **3,099 名** が参加。

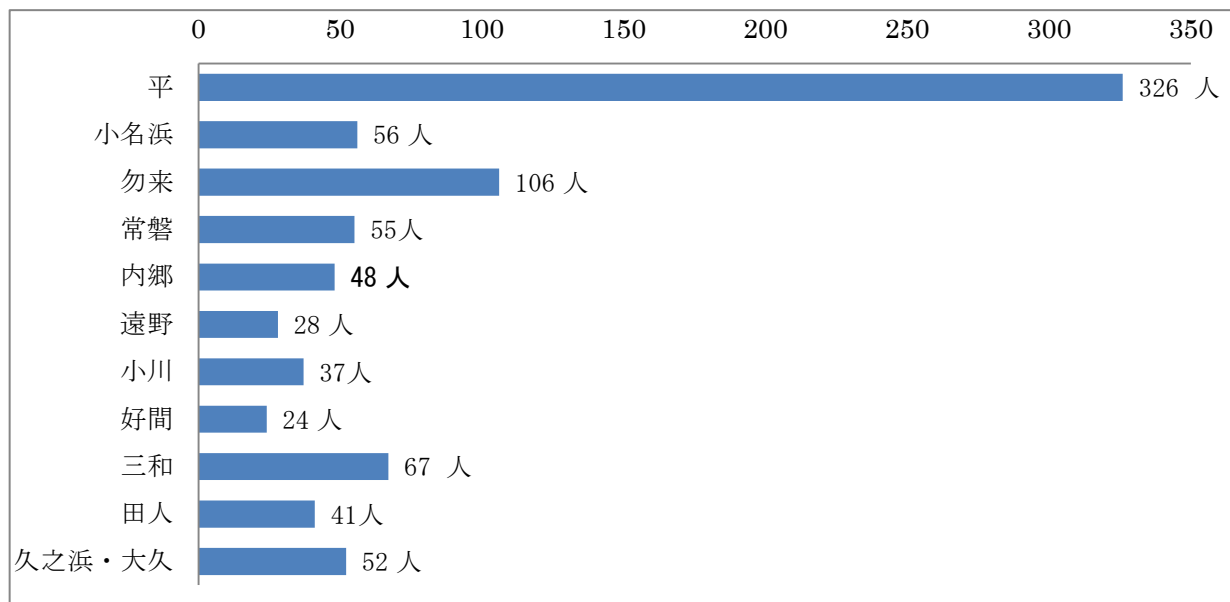
■地区別人数内訳 (単位:人)

		訓練参加者	訓練従事者		計
			職員 (行政・消防・水道)	関係機関 (消防団・警察等)	
10月29日 (土)	遠野	66	24	29	119
11月5日 (土)	平	1,177	51	86	1,314
	小名浜	74	29	30	133
	勿来	151	29	29	209
	常磐	59	28	19	106
	内郷	200	26	42	268
	小川	343	20	57	420
	好間	25	14	17	56
	三和	83	14	62	159
	田人	171	17	30	218
	久之浜・大久	55	15	27	97
	<b>小 計</b>	<b>2,338</b>	<b>243</b>	<b>399</b>	<b>2,980</b>
<b>合 計</b>		<b>2,404</b>	<b>267</b>	<b>428</b>	<b>3,099</b>

※小川地区の参加者には、  
情報伝達訓練（土砂災害  
緊急連絡網）の参加者を  
含む

## 2 総合防災訓練アンケートの回答

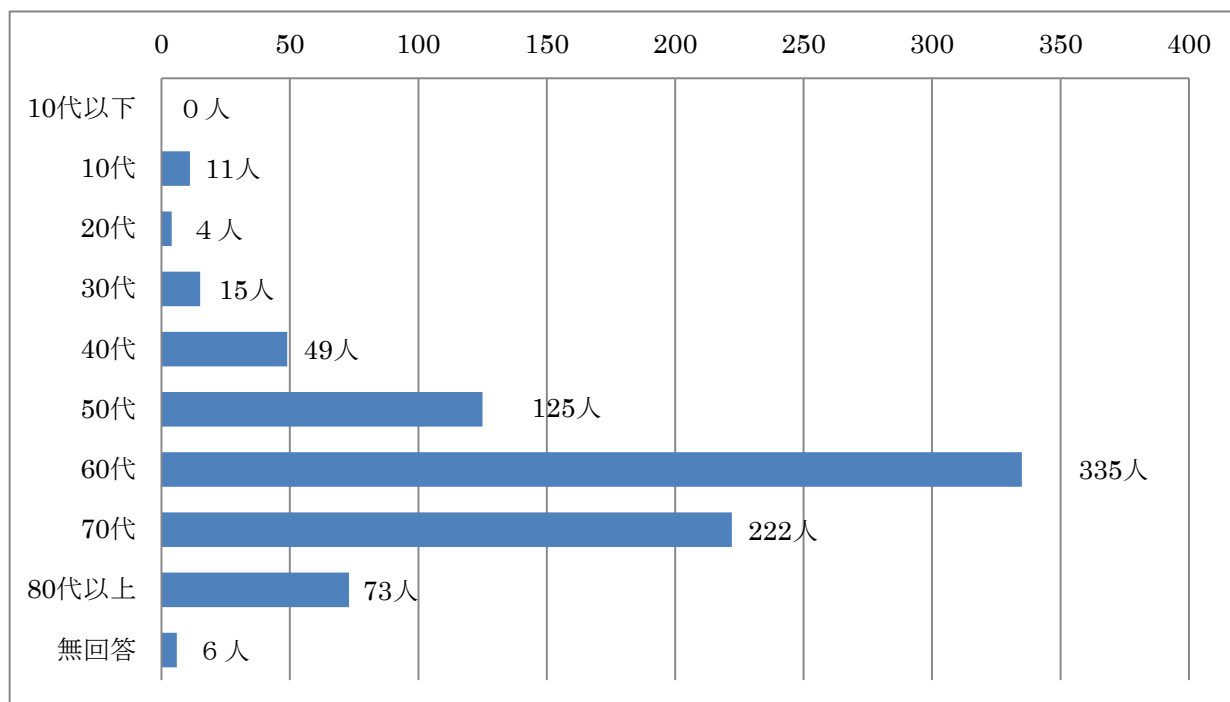
総合防災訓練に参加された方のうち、840名（訓練参加者の約35%）の方々にアンケートにご回答頂きました。地区別にみると平地区からの回答（326名）が多く、次いで勿来地区（106名）、三和地区と（67名）となっています。



## 3 総合防災訓練アンケート結果

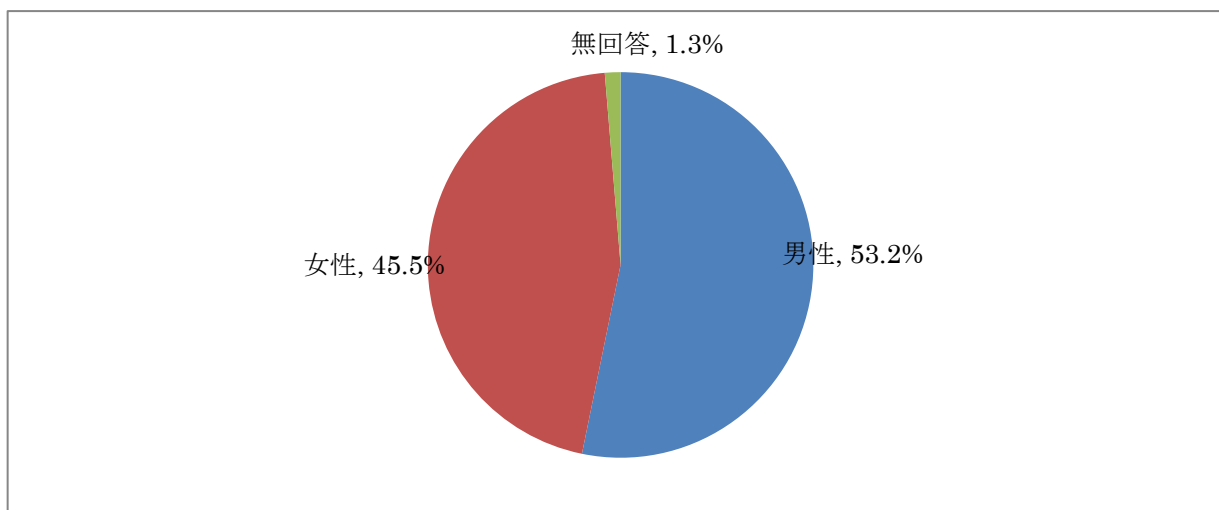
質問1. あなたのことについて伺います。

(1) あなたの年代について



・60代が最も多く335名、50代以上が約90%を占める。平成24年度から実施している防災訓練でも同様の状況が確認されており、若年層における参加向上に向けた取り組みが必要と考える。

## (2) あなたの性別について



- ・ 男性が 53.2%、女性が 45.5%となっています。

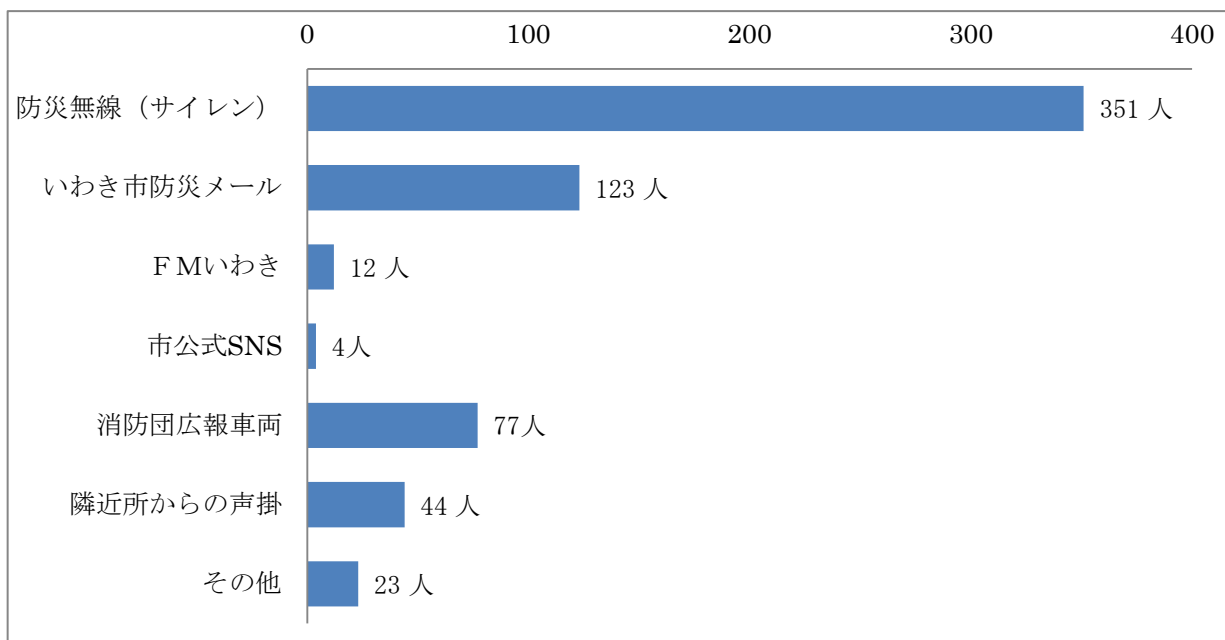
## (3) お住まいの地区・自治会名について

個人の住所記載があるため省略させていただきます。

## 質問2. 本日の訓練について（本項目は災害事象によって質問が異なります）

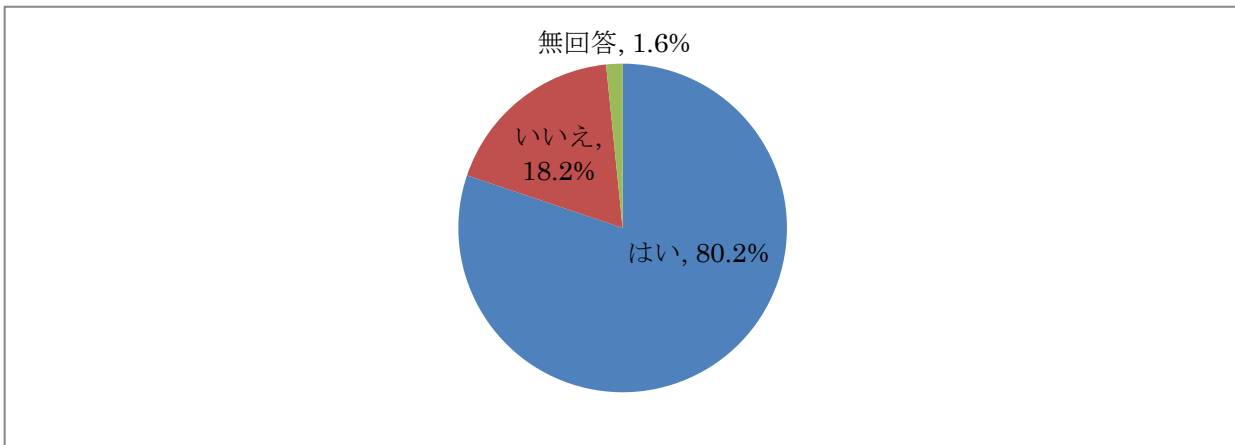
【津波】

### (1)どのような手段で大津波警報の発表を確認しましたか？（複数回答可）



- ・ 市防災メール、緊急速報メールによって情報を確認している方が多いが、FMいわきや広報車で情報を確認している方もいることから、複数のメディアでの情報発信が有効であることが確認された。

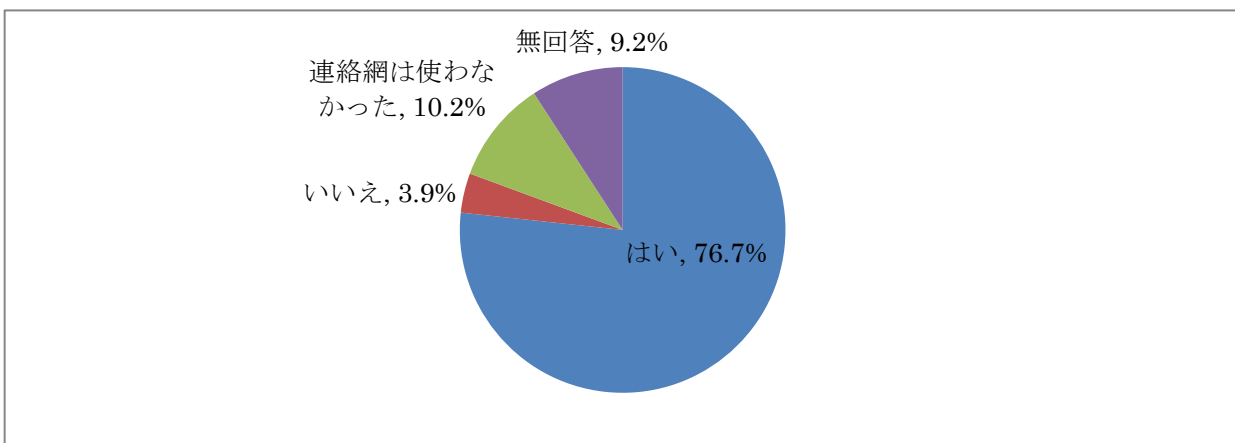
## (2) 防災無線は聞こえましたか？



- ・ 訓練に参加した8割以上の方が防災無線を聞き取ることができているが、聞き取れない方もいるため、実際の津波警報が発表された場合は繰り返して放送を行うことと、複数メディアでの情報発信が有効であると考えられる。

### 【土砂】

## (1) 土砂災害警戒区域ごとに定めた緊急連絡網を使って、電話や呼び掛けにより円滑に情報伝達できましたか？



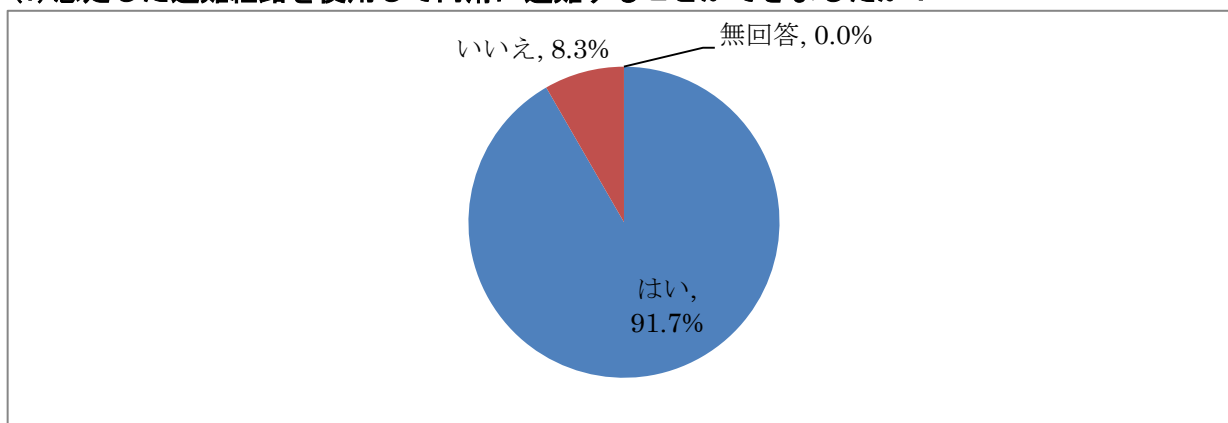
- ・ 訓練に参加した7割以上の方が連絡網を使用して円滑に情報伝達を行うことができていた。

### (2) どのような点に問題がありましたか？※ (1) で「いいえ」と答えた場合

- ・ 一部で電話に出ない住民がいることで連絡網が途切れてしまった事例があるため、日頃から伝達時のルールを話し合っておくことが重要であることが確認できた。
- ・ 役所からの電話の電波が悪くて途切れてしまった。
- ・ 固定電話の番号ではなく携帯電話の番号で連絡網を作らないと通じない。
- ・ 連絡網から2、3人地区の人が抜けて作成されていた。

## 【水害】

### (1) 想定した避難経路を使用して円滑に避難することができましたか？



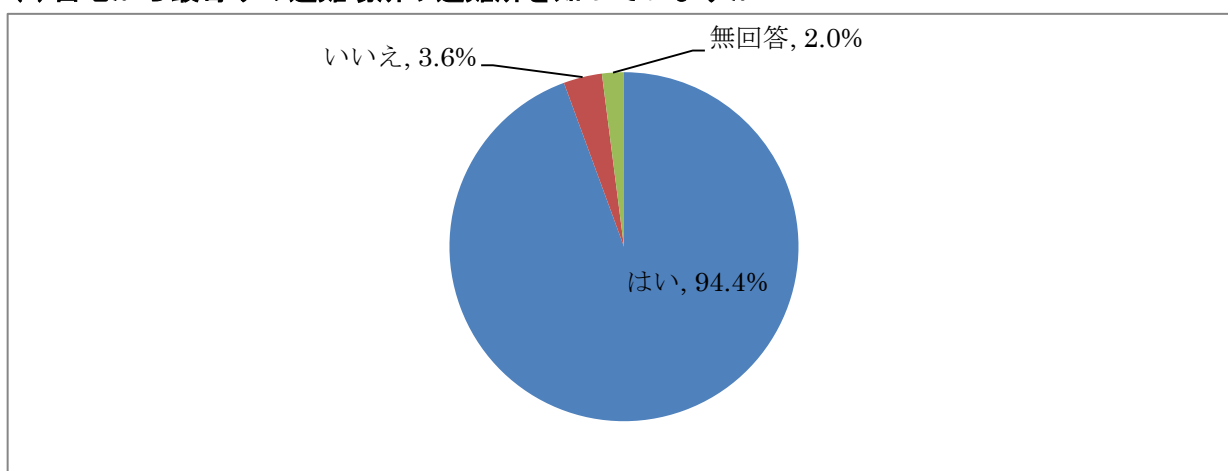
- ・ 訓練に参加した9割以上の方が想定通りの経路を使用して避難することができている。
- ・ 訓練に参加している方は区の役員やそれに準ずる方であることが多いため、実際の災害時には訓練に参加していない方にどのように経路を伝えるかが課題である。

### (2) どのような点に問題がありましたか？※ (1) で「いいえ」と答えた場合

- ・ 今新田公民館から好間中まで歩いて避難したが、大雨等を想定すると徒歩ルートに一考を要すると思います。
- ・ 避難所までの距離が長い。

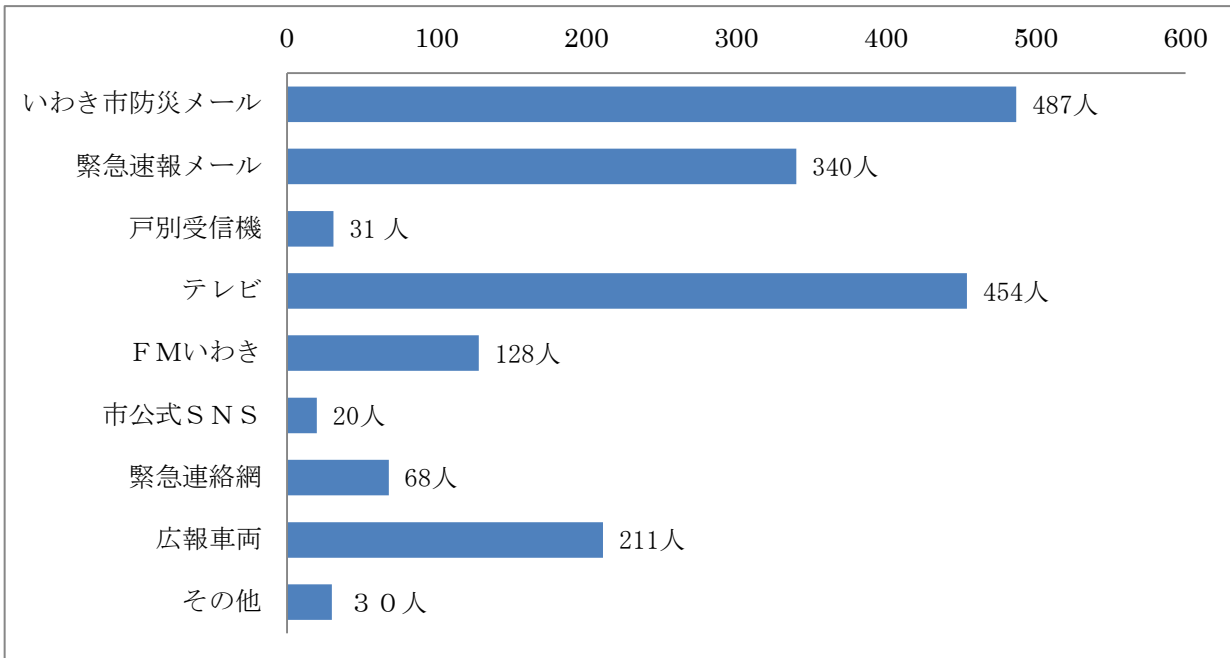
## 質問3. 日頃の防災対策についてお聞きします

### (1) 自宅から最寄りの避難場所や避難所を知っていますか？



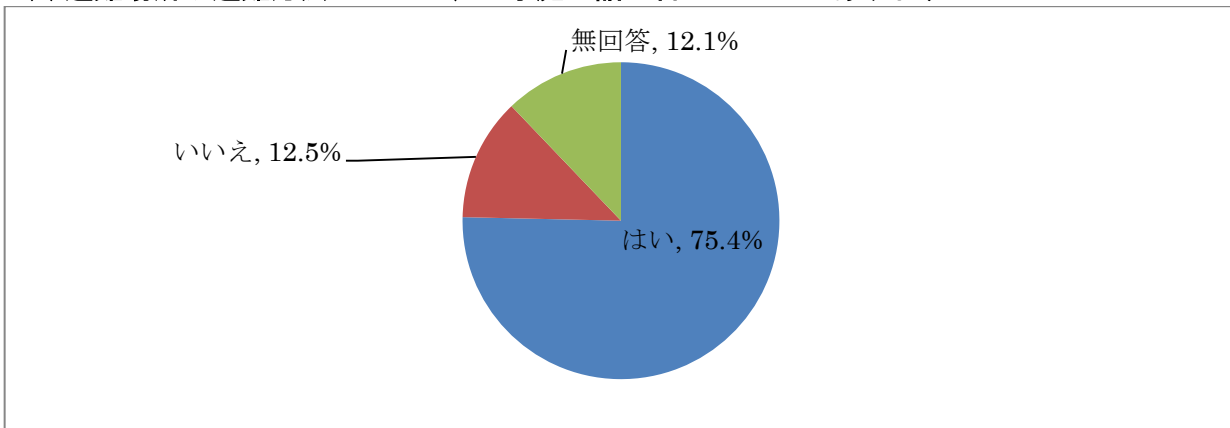
- ・ 訓練に参加した9割以上の方が最寄りの避難所や避難場所を知っているとの回答である。
- ・ 災害事象によって避難する避難場所、開設する避難所が異なるため、実際の災害発生時に地区住民へその情報をスムーズに伝えることが重要になると考えられる。

(2) 日頃、防災に関する情報を何で確認していますか？



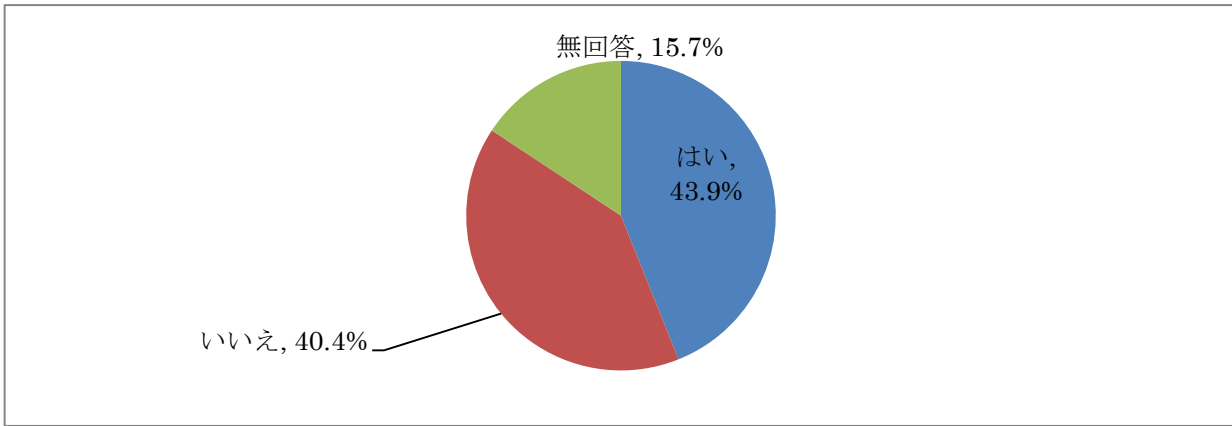
- ・ 市防災メールや緊急速報メールに併せて、テレビで情報を得ている方が多いため、実際の災害事象ではアラートを通じた速やかな情報発信が重要になると考えられる。
- ・ FMいわきや広報車両での周知は携帯電話を使用していない方に対して情報を周知するのに有効であると思われる。
- ・ 市公式 SNS で情報を確認している人が少ないが普段から SNS に慣れている世代に対しては有効な情報発信手段になると考えられる。

(3) 避難場所や避難方法について、ご家庭で話し合ったことがありますか？

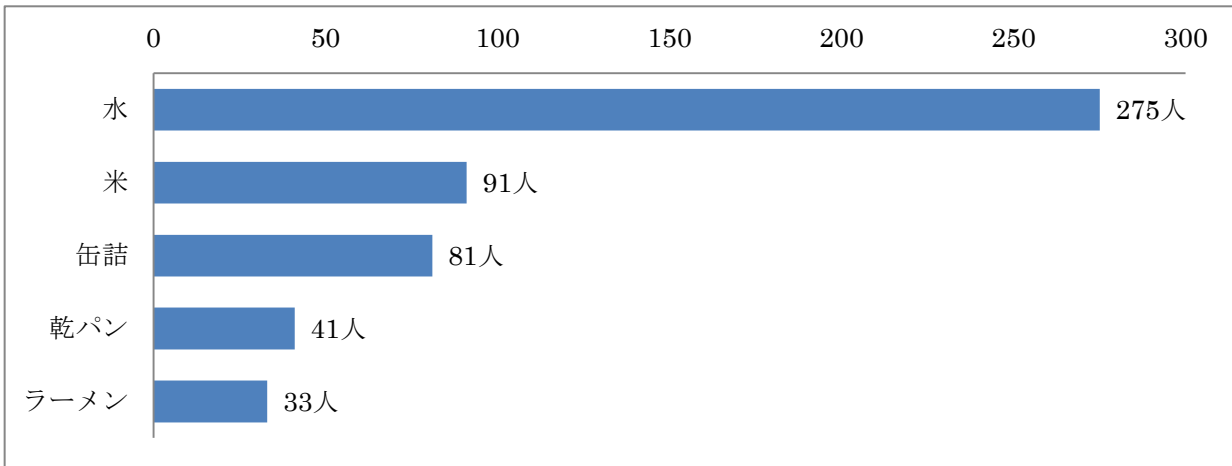


- ・ 防災訓練に参加している方の7割以上が家庭で避難場所や避難方法について家族で話し合っているが、訓練に参加していない方の家庭でもそのような話題が出るようにするため、防災訓練以外（学校での防災教育や地区のワークショップ）の周知が重要になると考えられる。

(4) 非常時に備え、食料などの備蓄を行っていますか？



<備蓄している物>



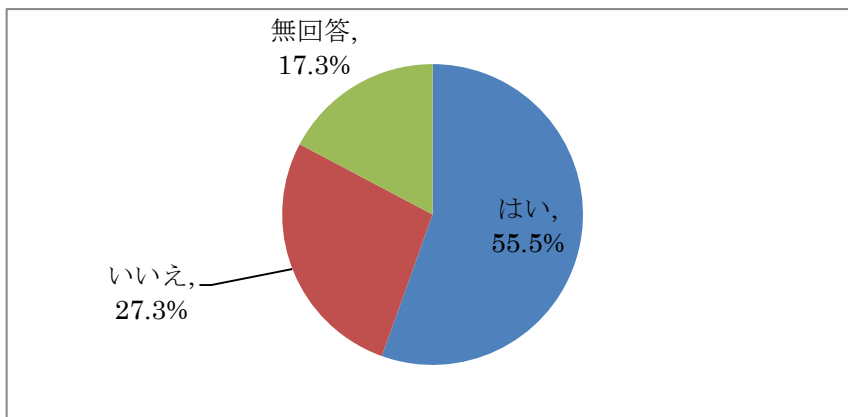
<備蓄量について>

(単位:人)

品目	1日以下	1日分	2日分	3日分	4日分	5日分	6日分	7日分	10日分	14日分	15日分	20日分	30日分	60日分	300日分	365日分	720日分	日数不明	計
水	2	12	24	87	1	20	3	43	25	2	0	9	8	2	0	3	0	34	275
米	0	0	3	12	0	0	0	2	4	0	0	3	13	5	4	22	1	22	91
缶詰	0	2	7	18	0	2	0	10	6	0	1	1	1	0	0	0	0	33	81
乾パン	0	3	7	7	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	19	41
ラーメン	0	1	3	11	0	6	0	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	5	33

- ・ 備蓄については「水」を備蓄している方が最も多く、次いで米（アルファ化米含む）、缶詰となっている。
- ・ いずれも3日分や7日分が多く、10日分前後備蓄している家庭もある。
- ・ 市で行う備蓄はあくまで予備であることを念頭に置いてもらい、家庭での備蓄を一層充実するように呼びかけたい。

#### (5) 緊急時の家族(または介助者等)との連絡方法などを決めていますか？



・ 訓練に参加した方の5割以上が連絡方法を決めていると回答しているが、決めていない方と無回答の方を含めて5割近くが緊急時の家族等との連絡方法を定めていないことから、携帯各社が用意している災害伝言板等の使用方法について訓練時に取り上げる必要があると考える。

#### 質問4. 今回の防災訓練について

##### (1) 防災訓練の感想は？

###### 【良かった点】

###### <平地区・津波>

- ・ お手伝いの子供たち（中学生）が親切で助かりました。
- ・ 避難場所の道順、時間の確認ができたこと。
- ・ 講話の内容が解りやすく理解できた。テント、毛布の活用の実技が大変良かった。
- ・ 災害に対する心構えを再認識できた。
- ・ 隣人の元気な顔が見る事が出来た。
- ・ 係員の対応が丁寧で良かった。 ペットも一緒に参加してみて感じがつかめた。
- ・ 防災無線は良く聞こえてよかった。

###### <小名浜地区・津波>

- ・ いざという時の経路確認ができて良かった。
- ・ 4階までの階段を車イスごと持っていただいて無事上がることができた。
- ・ 講話が良かった。 蹴破りドアのデモがよかった。

###### <久之浜・大久地区・津波>

- ・ 初めて防災・交流センター屋上へ上がり避難場所を確認できたこと。
- ・ 近所で声をかけあって避難場所へ向かったこと。

###### <勿来地区・土砂>

- ・ 具体的な避難方法を知れたので大変良かった。今日学んだことをすぐ出来ることからやっていきたいと思う。
- ・ 避難経路や危険な所などがわかった事。
- ・ 図上訓練でいつも通る道路の近くに、ため池があることが分かった。雨が降り続いた場合道路が



寸断される恐れがあったと思った。

#### <常磐地区・土砂>

- ・ 訓練によって認識をより一層身に感じた。非常時の備蓄をもう少し多くしないとだめだと思った。
- ・ 災害に対する備え（DVD）によるハード、ソフトが再確認出来た。HUG 訓練を体験し判断する基準を決めて対応する事が重要だが難しく感じた。
- ・ 「ペットをどうするか?」「身体が不自由な方をどうするか?」など避難所設営の課題がわかった。

#### <内郷地区・土砂>

- ・ 救命救護の実演。
- ・ 防災まちづくり活動の紹介。
- ・ 地域住民、学生と共に訓練が実施されたこと。

#### <遠野地区・土砂>

- ・ 初めて訓練（避難）を体験できて良かった。

#### <小川地区・土砂>

- ・ 防災講話が判りやすく良かった。
- ・ 避難所運営の注意点を学習することができた。

#### <三和地区・土砂>

- ・ 実際に動いてみてわかることができました。
- ・ 図上訓練で弱点がわかった。

#### <田人地区・土砂>

- ・ いろいろ体験出来て良かった。
- ・ 防災知識が身についた。

#### <好間地区・水害>

- ・ 水害の際の避難場所を確認できた。
- ・ 車では気付かない地形など避難所の注意点がわかった。

### 【悪かった点】

#### <平地区・津波>

- ・ 防災訓練のサイレンが聞こえなかった。
- ・ 訓練時間が少し長かった。
- ・ 高齢のため、避難所まで歩いていくことがとても辛かった。

#### <小名浜地区・津波>

- ・ 体力がない人が4階まで避難することは大変であるため、そのような人を避難させるための事前の取り決めがあると良いと思う。
- ・ もう少し参加者を増やす工夫が必要ではないか。
- ・ 緊急速報メールがサイレンが鳴ってから12分後に届いた。

#### <久之浜・大久地区・津波>

- ・ 高齢者が多く若い（20代～30代）の参加者が少ないのが残念である。

- ・ 休日、夜間の避難時の為に実際に使用する扉などを使用した訓練にしてほしかった。

#### <勿来地区・土砂>

- ・ 参加者が少ない。
- ・ 避難場所が狭かった。大高のふれあい広場等でもっと多くの人に参加してもらってもよかったのではないか。
- ・ 各班員の行動が何しているのかわからない。実際訓練をしている行動内容をボード等に表示すれば判りやすい。

#### <常磐地区・土砂>

- ・ 高齢者が歩いて避難することは体力的に心配です。
- ・ 老人や介護の必要な人の移動がなかった。

#### <内郷・土砂>

- ・ せっかくの事例発表のお話が聞こえにくかったのが残念（活動自体が素晴らしいだけに…）
- ・ 応急処置の仕方について舞台の他に2、3ヶ所設けてほしかった。（聞きにくかった）

#### <遠野地区・土砂>

- ・ 最低限避難所に持参すべき水、トイレトペーパー、携帯用乾電池式充電器などの指定をすべき。

#### <小川地区・土砂>

- ・ 連絡網の電話連絡がなかなか繋がらない。
- ・ 現時点でどの程度の危険度なのかもっとくわしく知りたかった。

#### <三和地区・土砂>

- ・ 各組地図が見えにくい。大字ごとにしてほしい。

#### <田人地区・土砂>

特になし。

#### <好間地区・水害>

- ・ 洪水被害と言うことなので地域に合った避難場所、避難コース等を選定したらどうか。
- ・ 徒歩での避難は現実的ではない。ほとんど車での避難が考えられるので、その場合の渋滞具合の想定が必要と思う。またその対策。

### 質問5. 今後の訓練などについて

#### (1) 今後どのような訓練を実施してみたいですか？

- ・ 「夜間・早朝の訓練」がどの地区でも多くを占めていたが、自動車を使った津波避難訓練や、企業と連携した訓練、予告なしの訓練、各自で備蓄品や非常持出品を持ち寄っての訓練との意見もあった。

### 質問6. その他 ご感想・ご意見など

その他、ご意見・ご感想、お気づきの点などをお書きください。

- ・ 車では避難しないよう広報されていますが、一律に決めつけられない。今回の震災(3.11)では車で逃げて助かった人も多数あり、避難生活で車を利用できどれだけ役に立ったか

わかりません。車も財産。車を使う場合のルールづくりをする。車利用を全面的に否定する風潮には疑問が多々ある。

- ・ 震災から5年が経過し、防災に対する意識も少しうすれてきている為、こういった全体的な避難訓練を実施する事により防災意識を再確認し家族内でも改めて確認する機会にしていきたい。
- ・ 寝たきりの高齢者や障害者を避難させる訓練も必要ではないか。
- ・ 市民の防災意識を高めるため小中学校との合同の訓練を実施しなければ市民防災意識の継続が低下するのでは。実践に役に立つ訓練も必要と思う。
- ・ 高齢者・ペット同伴の避難者が増加することが決定しているので、その対応を考えなければならないと思う。
- ・ 市の職員か区別するために背中に「いわき市」と書いた災害時に出勤するためのジャケットを用意してほしい。着ている物がバラバラで避難民には不便である。
- ・ 避難所運営と実際に避難者になった場合の訓練に両方体験すべきと感じました。

以上